

# 決算早期化を実現する実務ノウハウとポイント

～決算が遅れる根本原因を把握し、経理業務を効率化させる方法を解説～

□日 時：2019年12月13日(金) 10:00～17:00 (6H)

□講 師：武田公認会計士事務所 所長  
公認会計士  
**武田雄治氏**

□会 場：本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)  
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主 催：一般社団法人 日本経営協会

## □開催にあたって

働き方改革への社会的要請が高まるなか、経理部門における決算早期化・効率化を実現している企業は今も多くはありません。人手不足が常態化し、特に間接部門である経理部門の増員は厳しい状況にあります。決算早期化・効率化等を課題とは認識しているものの、具体的に何から始めれば良いのかわからないという企業も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、監査する側とされる側の両方の経験を持ち、これまで上場企業40社以上の決算早期化・効率化を実現させてきた講師が、その体験に基づき、決算早期化・効率化を達成する「経理部の仕組みづくり」の方法と成功事例を紹介いたします。そのうえで、ベテラン担当者による属人化を排除する方法や、経理部を会社の中核部門＝司令基地となる『真の経理部』に進化させる方法についても解説いたします。

この機会に関係者各位の積極的なご参加をおすすめ申し上げます。

## 講師紹介

武田公認会計士事務所 所長  
公認会計士

**武田雄治氏**

大手監査法人、東証上場企業の財務経理部門に勤務の後、2005年に独立。現在、武田公認会計士事務所所長。「経理を変えれば会社は変わる」の信念のもと、多くの上場企業の会計コンサルティングを行い、経営者・経理担当者から圧倒的な支持を受けている。特に、決算早期化、IFRSの分野では第一人者と称され、上場企業40社以上の決算早期化プロジェクトを支援。また、これまで指導してきた決算早期化セミナーでは多くの参加者が「目から鱗が落ちた」と絶賛、自身のブログ『CFOのための最新情報』は月間のべ10万人以上に閲覧されている。主な著書は、『決算早期化が実現する7つの原則』(中央経済社)、『先行開示事例から学ぶIFRS導入プロジェクトの実務』(中央経済社)、『社長のための1年で会社を黒字にする方法』(日本実業出版社)など多数。

## ■ 申込要領 ■

参加料 (1名につき) :

参加料	本会会員	一般
参加料	30,000円	35,000円

※参加料には、別途消費税がかかります。

### 申込方法 :

- 裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX等にてお申込みください。追って、請求書と参加券をご派遣責任者までお送りいたします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください。)
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
  - 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
  - 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

### WEBお申込みのご案内

本会ホームページからも、セミナーご参加のお申込みが可能です。お申込みが完了しましたら、ご確認メールをお送りいたします。

- |                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| <p>WEB<br/>お申込み<br/>の流れ</p> | <p>① 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <a href="https://www.noma.or.jp">https://www.noma.or.jp</a></p> <p>② 「セミナー/講座」を選択</p> <p>③ 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択</p> <p>④ ご希望セミナーを検索</p> | <p>⑤ ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み</p> <p>⑥ お申込みをいただきますと、確認メールが届きます</p> <p>⑦ お申込み完了</p> |
|-----------------------------|---|--|

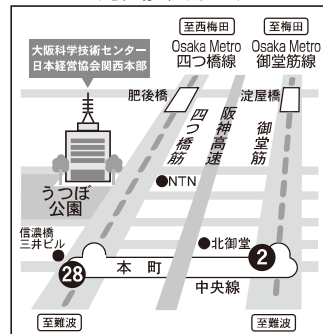
### キャンセルについて :

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

### その他 :

- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

### <会場案内図>



- 大阪方面よりお越しの場合
  - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
  - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
  - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
  - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>  
TEL 06(6443)6962 (ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail [ksosaka@noma.or.jp](mailto:ksosaka@noma.or.jp)

# □プログラム□

## 1. 決算早期化を実現している会社の特徴

- (1) 単体決算の特徴
  - － 実はそれほど単体決算が早い訳ではない
- (2) 連結決算の特徴
  - － 最大5営業日で連結決算を仕上げる
- (3) 開示業務の特徴
  - － 最大5営業日で開示業務を仕上げる
- (4) 会計監査の特徴
  - － 監査スケジュールは会社側から動かしていく
- (5) その他の特徴
  - － 決算前にできることをやり尽くす
- (6) 決算早期化を実現している会社の共通点
  - － 「森を見る視点」を全経理担当者がもっている

## 2. 決算早期化を実現する「経理・決算の仕組み」の作り方

- (1) そもそも経理部は何をする部署なのか？
  - － 経理部は価値ある情報を出荷する「情報製造業」である
- (2) 経理部の「情報製造業」におけるベルトコンベアとは
  - － 日常業務と決算業務の「7つの業務」を繋ぐ
- (3) 決算が遅延する根本的な原因
  - － 決算資料と財務分析に原因あり
- (4) 決算早期化を実現している会社の経理部
  - － 「情報製造業」から「情報サービス業」への進化
- (5) 経理部の在り方と決算早期化の関係
  - － なぜ「情報サービス業」の方が決算早期化を実現しているのか

## 3. 決算早期化を実現するアウトプット事例

- (1) アウトプット資料(決算資料)作成の3要件
  - － 網羅性、有用性、体系的保管を充たす資料のみ作成する

- (2) 決算資料の作成方法の具体例
  - － リードシート、勘定科目明細、注記基礎資料の作り方
- (3) 決算早期化を実現するための財務分析の方法
  - － 分析におけるマクロ的視点とミクロ的視点
- (4) 財務分析の事例紹介
  - － 財務分析の具体的手法と失敗事例

## 4. 決算早期化を実現する「決算業務のマクドナルド化」

- (1) マクドナルドは究極の早期化モデル
  - － 高校生が10秒でハンバーガーを調理するのはなぜか
- (2) 決算早期化達成企業の経理部の人材と人材育成方法
  - － 属人化は「悪」である
- (3) マクドナルド化後の業務分担
  - － 縦割り業務から横申し業務への移行によるメリット

## 5. 決算早期化を達成できない原因と解決策

- (1) 決算早期化を阻害するボトルネックとは
- (2) 決算が全体的に遅い会社の原因と解決策
- (3) 単体決算が遅い会社の原因と解決策
- (4) 連結決算が遅い会社の原因と解決策
- (5) 開示業務が遅い会社の原因と解決策
- (6) 会計監査に時間がかかりすぎている会社の原因と解決策

## 6. 質疑応答

※ 当日、サブテキストとして講師著『「経理の仕組み」で実現する決算早期化の実務マニュアル《第2版》』（中央経済社）を差し上げます。

(4.5)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (佐々木) 宛

NOMA	「決算早期化を実現する実務ノウハウとポイント」参加申込書 (3985)	2019.12/13 30,000/35,000
(フリガナ) 会社名: 団体名	TEL ( ) - FAX ( ) -	ご派遣責任者:
(フリガナ) 所在地:	(〒 )	所属・役職:
参加者氏名	所属・役職名	●お支払い方法 □ 銀行振込 □ その他 ご請求先 (ご担当) (ご所属)
(フリガナ)		
(フリガナ)		
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。		

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。  
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。 □ 不要